

【14時 同時配布】学研都市記者クラブ、京都経済記者クラブ、大阪経済記者クラブ、奈良県政経済記者クラブ、京都府政記者室、京都大学記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、総務省記者クラブ、テレコム記者会、文部科学記者会、科学記者会

報道関係各位

2023年11月9日

けいはんな R&D フェア実行委員会

発酵・XR・生成 AI をテーマに高校生と研究者が探求 11/18 (土)「けいはんなアイデアソン 2023」開催

けいはんな R&D フェア実行委員会（京都府相楽郡精華町、実行委員長：(公財) 関西文化学術研究都市推進機構 常務理事 河合智明）は、高校生が最先端技術についてアイデアを出し、研究テーマを探求する「けいはんなアイデアソン 2023」を 2023 年 11 月 18 日（土）に奈良県立奈良高等学校を会場に開催します。けいはんなの立地機関からオムロン（株）、奈良先端科学技術大学院大学、国立研究開発法人情報通信研究機構の 3 者がテーマを提供、奈良、京都、大阪から 8 校、計 18 チーム（63 名）の高校生が参加します。「けいはんなアイデアソン 2023」をメディア関係者に公開しますので是非ともご取材いただきますよう宜しくお願いします。

また、本イベントは奈良県立奈良高等学校主催で文部科学省「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」事業「けいはんなサイエンスフェスティバル 2023」のプログラムとして実施され、同日午後には SSH 連携校 13 校の高校生による 43 テーマのポスター発表も実施されます。



「けいはんなアイデアソン 2023」

・日時：2023 年 11 月 18 日（土）9：30～12：30

・会場：奈良高校（奈良県奈良市朱雀 2 丁目 11 番地）

<スケジュール>

9：00 受付開始

9：30～12：30 「けいはんなアイデアソン 2023」開催（参加校：8 校 18 チーム、63 名）

奈良県立奈良高校（3）、奈良県立奈良北高校（3）、奈良県立郡山高校（3）、奈良市立一条高校（1）、奈良学園高校（3）、奈良女子大学附属中等教育学校（1）、立命館高校（3）、追手門学院大手前高校（1）

※カッコ内：チーム数

14：00～16：00 「けいはんなサイエンスフェスティバル」ポスター発表（13 校 43 テーマ）

16：10 講評・閉会式（表彰式）

■「問から始まる」テーマを探求

本アイデアソンでは、けいはんな学研都市の3機関の研究から最先端技術をテーマに設定します。解決策を探す力よりも問題を発見する力の方が重要と言われる昨今において、企業や大学でも活用される「問いつくり (QFT) ※1」の手法を使って高校生たちが各テーマの問いつくり挑戦します。独自の観点や課題を掘り下げ、最後に未来に想定されるアイデアの芽の創出に取組みます。

(ファシリテーション：株式会社 HackCamp)

終了後の講評・閉会式では表彰式を執り行い、3テーマそれぞれ上位2チームを表彰します。

(※1 QFT: 質問づくり (The Question Formulation Technique、QFT) は、Right Question Institute (RQI) が開発した手法。)

<テーマ1：伝統×革新：発酵食品の未来> 奈良先端科学技術大学院大学

パン、醤油、味噌、酒などには伝統的製法と現代的な製法があります。それぞれのメリット・デメリットと、これからの発酵食品のあり方を考えます。

- ・講師) 奈良先端科学技術大学院大学
バイオサイエンス領域 微生物インタラクシオン研究室 准教授 渡辺 大輔 氏
- ・参加者) 6チーム 21名 (奈良/奈良北/奈良学園 (2チーム) /奈良女子大附属/立命館)

<テーマ2：XR×五感：2030年のヒューマンインタフェース> オムロン (株)

XRとはAR (拡張現実)・VR (仮想現実)・MR (複合現実) など現実と仮想を融合した体験ができる技術です。さらに触覚・嗅覚・味覚など五感を使って操作する2030年の新しいヒューマンインターフェースを考えます。

- ・講師) オムロン (株) デバイス&モジュールソリューションズカンパニー
事業統轄本部 商品開発部 山縁 剛志 氏
- ・参加者) 6チーム 20名 (奈良/奈良北/郡山/一条/奈良学園/立命館)

<テーマ3：万能×危険：生成AI技術のイケてる活用術> NICT

話題のChatGPTをはじめとする生成AI技術。質問を入力すれば何でも教えてくれるから、もう勉強しなくても... 本当にそれでいいですか? 生成AIの便利な点だけでなく表裏一体の危険性等を考え、生成AIのイケてる活用術を考えます。

- ・講師) (国研) 情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所
先進的音声翻訳研究開発推進センター先進的音声技術研究室 主任研究員 岡本 拓磨 氏
- ・参加者) 6チーム 22名 (奈良/奈良北/郡山(2チーム)/立命館/追手門大手前)

■けいはんなアイデアソン 2023 について

本アイデアソンは「けいはんな R&D フェア 2023」の併設イベントです。 文部科学省・SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定校、奈良高校が中心となって開催する「けいはんなサイエンスフェスティバル」に合わせてアイデアソンを企画しました。昨年に続き 2 回目の今年は立地企業のオムロン（株）が初参加、同社の最新技術「XR」がテーマに登場。高校生の自由な発想は研究者にも刺激となり、アイデア創出の手法や活発な討議が教育現場からも評価され、今年度は昨年よりも多い、奈良・京都・大阪から 8 校 18 チームが参加します。（昨年度は奈良・京都から 7 校 10 チーム）。

▶「けいはんなサイエンスフェスティバル」 <https://www.e-net.nara.jp/hs/nara/index.cfm/1,2986,78,194.html>

[主催] けいはんな R&D フェア実行委員会

[共催] (国研) 情報通信研究機構、(株) 国際電気通信基礎技術研究所、(公財) 関西文化学術研究都市推進機構、(公社) 関西経済連合会

[協賛] オムロン（株）技術・知財本部、京セラ（株）けいはんなリサーチセンター、(株) けいはんな、サントリーホールディングス（株）、(株) 島津製作所 基盤技術研究所、積水ハウス（株）総合住宅研究所、TOPPAN（株）、同志社大学、奈良先端科学技術大学院大学、日本機材（株）、日本電信電話（株）NTT コミュニケーション科学基礎研究所、(国研) 理化学研究所情報統合本部、(国研) 量子科学技術研究開発機構 関西光量子科学研究所、(公財) 国際高等研究所、近畿情報通信協議会、けいはんな学研都市活性化促進協議会、けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会

[協力] 総務省近畿総合通信局、高度言語情報融合フォーラム

[後援] ニデック（株）けいはんなテクノロジーセンター、国立国会図書館、グローバルコミュニケーション開発推進協議会、奈良県立奈良高等学校、京都府、大阪府、奈良県、京田辺市、木津川市、精華町、枚方市、四條畷市、交野市、奈良市、生駒市、及び各市町教育委員会、朝日新聞社、京都新聞、産経新聞社、奈良新聞社、日刊工業新聞社、日本経済新聞社大阪本社、毎日新聞社、読売新聞社、KBS 京都

[運営事務局] けいはんな R&D フェア実行委員会事務局

【アクセスマップ】

- ・会場：奈良県立奈良高等学校（奈良県奈良市朱雀 2 丁目 11 番地）
- ・交通：近鉄京都線・高の原駅から南南東へ徒歩 550m ・駐車場 有（※台数に限りがあります。）



【本件に関するお問合せ先】

- ・けいはんな R&D フェア実行委員会事務局（国立研究開発法人情報通信研究機構 内）
総合企画室 廣江・藤江 Tel：0774-98-6900 Email：ideathon2023@khn.nict.go.jp
- ・関西文化学術研究都市推進機構 広報戦略室 佐竹 Tel：0774-95-6134
- 【開催当日の連絡先】 佐竹（携帯）：080-5306-8422 藤江（携帯）：080-3359-5282

「けいはんなアイデアソン 2023」取材申込票

2023年11月17日(金) 17:00〆切

- ・開催日時：2023年11月18日(土) 9:30~16:30 (受付9:00開始)
- ・会場：奈良県立奈良高等学校 (奈良県奈良市朱雀2丁目11番地)

<取材申込> フォーム(右QRコード)、E-mail、FAXでお申込み下さい。

- ・申込フォーム：<https://forms.office.com/r/eU1evYfCTA>

- ・Eメール：ideathon2023@khn.nict.go.jp / Fax：0774-98-6955



・貴社名：

・ご所属：

・お名前：

・E-mail：

・連絡先(電話番号)

・駐車場の利用： 有 ・ 無 / 台数： 台
